

上信越支部 登録カウンセラーへのステップ

C登録からB登録、A登録へ

産業カウンセラー資格取得後の研鑽は？ 支部事業にかかわるには？…

人材登録基礎講座 受講 ⇒ 評価認定 ⇒ C登録

- ・支部認定 カウンセラー
- ・支部認定 講師
- ・養成講座 実技指導者
- ・CC養成講習 演習講師

各コースでの B登録 ⇒ A登録 を目指す

C登録からB登録カウンセラーへ

C登録

研 鑽

～B登録カウンセラー認定評価研修 受講の要件～

■ 「相談活動のための基礎講座」 3講座(18時間)以上 受講

■ 実習講座：「相談活動を希望される方への推奨講座」から
25時間以上 受講

・会員研修のうち 上記 推奨講座 とされたもの

例) 「傾聴訓練」「逐語検討」「事例検討」「傾聴の基本」

「事例・逐語カウンセリング力アップ」

「傾聴の5ステップレッスン」など

・シニア育成講座「逐語記録・事例報告の作成と検討」

(既に受講された旧シニアコース講座逐語1～3も加算可)

C登録からB登録への 認定評価研修 受講 (面接実習等)

評価認定 を受ける

B登録カウンセラー

B 登録から A 登録カウンセラーへ

B 登録カウンセラー

研 鑽

～A 登録カウンセラー評価研修受講の要件～

- 「相談活動のための基礎講座」全講座受講(6～7 講座)
- 実習講座：「相談活動を希望される方への推奨講座」から 30 時間以上受講 (C 登録から通算 55 時間以上) で、基礎講座と合計して 100 時間以上であること
 - ・ 会員研修のうち 上記 推奨講座 とされたもの
例) 「傾聴訓練」「逐語検討」「事例検討」「傾聴の基本」
「事例・逐語カウンセリング力アップ」
「傾聴の 5 ステップレッスン」など
 - ・ シニア育成講座「逐語記録・事例報告の作成と検討」
(既に受講された旧シニアコース講座逐語 1～3 も加算可)

B 登録から A 登録への 評価研修 受講 (面接実習)

(※または、相談室での CO-CL 体験+フィードバック体験実施)

提出物による評価・認定；

同一 CL3 回以上の面接から逐語記録、事例報告書を作成して提出、
所定の評価を受けて推薦、認定を受ける

A 登録カウンセラー

※場合により、不定期だが、各相談室で SVor ほか所定の人員による CO-CL 体験及びフィードバック体験実施でこの評価研修の代用とすることがある。実施の場合は相談事業部から案内がある。